



風は海から

令和8年4月7日

令和8年度

横浜市立西富岡小学校

学校だより4月号

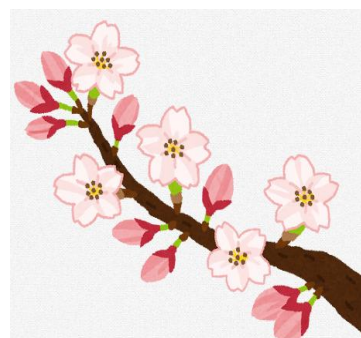
はじめの一步を大切に

横浜市立西富岡小学校

校長 武士 雅子

春のやわらかな日差しの中、校庭の草木も新しい季節の訪れを告げています。いよいよ新年度が始まりました。ご入学、ご進級、誠におめでとうございます。

4月は、新しい学年、新しい学級、新しい友達や先生との出会いの季節です。新しい環境に身を置くことで、子どもたちは心も体も一回り大きく成長しようとしています。期待に胸をふくらませる一方で、「うまくやっていけるかな」「友達ができるかな」といった不安を抱く姿も見られるかもしれません。しかし、その不安の多くは、「まだ何も始まっていない」ことから生まれるものも多いといわれています。先の見通しが立たないとき、人は誰でも心細くなります。誰にとっても初めてのことは、不安で当然であり、それは新しいことに真剣に向き合おうとしている証でもあります。けれども、一歩踏み出してみると、少しずつ周りの様子が見え、声をかけ合える友達ができ、できることも増えていきます。そうした日々の中で、不安は徐々に和らぎ、やがて前向きな気持ちや自信へと変わっていきます。



本校では、子どもたち一人ひとりが安心してその一歩を踏み出せるよう、温かな学級づくりと丁寧な指導を大切にしています。たとえば、朝の教室で少し不安そうに周囲を見回す子、なかなか手があげられずに下を向く子、失敗をして悔しそうな表情を浮かべる子…、私たちは、そうした一人ひとりの想いに寄り添い、小さな挑戦や努力を認め、励ましの声をかけていきます。失敗やつまずきの中にこそ、子どもたちの成長の種があると考えているからです。「失敗しても大丈夫」「やってみようと思える」雰囲気の中で、子どもたちが安心して成長できる環境を整えたいと考えています。

新しい環境の中で、時には立ち止まりたくなることや、思うようにいかないこともあるかもしれませんが、小さな一歩を積み重ねることが、確かな成長につながっていきます。お子さんの「できたこと」や「がんばったこと」に目を向け、言葉や表情で励ましていただければと思います。

本年度も教職員一同、家庭、地域と連携しながら、子どもたちの健やかな成長のために力を尽くしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。